

朝の冷え込みが厳しくなった11月15日(木)加須市の加須公民館にて開催された「高齢者ふれあい広場」にて、昨年に引き続き2度目の公演を行いました。

この「ふれあい広場」は、年5回ほど開催され、地域の一人暮らしのお年寄りのひきこもりを防ぐため、主に昼食会を中心に、各種イベントを組み合わせ開催されているようです。

今回も約1時間と時間もたつぷりのため、出し物をいろいろと準備して臨みました。

世話役の方々含め約30名のお客様が、始まるのを今かと、待ち受けておられました。

まずは「基本形」お客様もお年寄りといっても、我々とさほど変わらないと思われるほど、元気で、Nさんの太鼓に合わせて、手拍子も合いの手もテンポよく頂きました。

自己紹介に続いて「あゝ人生に涙あり」と「きよしのズンドコ節」を演じました。



そしてマジック、今日はIさんが都合でお休みのため、座長もマジックに初挑戦、みごとに成功し、座を盛り上げました。

Kのいつもの紐のマジック、ネクタイの首抜けなどの他、今回は、お客様と一緒に、認知症予防にもつなげようと、指先の運動で楽しんで頂きました。



続いて「オカリナ」、Nさんコンビで「里の秋」、「四季の歌」「ふるさと」の3曲を演奏しました。

いずれも、歌詞を大きく掲示して、皆さんにも大きな声で唄って頂き、好評でした。



引き続き、Gさんの名司会による「これなあ～似」を行いました。

時間の都合で4問ほど行いましたが、回答は全問正解で、流石に皆さん見た目も、内面も若々しさが保たれているようでした。



最終演目は「麦畑」、公演回数を重ねるたびに技術も向上し、最後の見せ場の「ハート形」もふさわしい形に演じることができ、大きな拍手を頂きました。



今回の公演でも、参加の皆さんから大いなる元気を頂き、その後、地域の方々のお手製の昼食を頂き、我々自身も大いに楽しむことができました。

帰り際には、会の主催責任者の方から「また来年もよろしくお願ひします」とのお話もあり、早速、来年の開催日も確定して、心も体も満腹になって会場を後にしました。

記：加藤 治朗
写真：中山 陽子